

現代文編	教科書 p. 162 〜 166	組 番	名前	/50
------	------------------------	--------	----	-----

一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) 茎が伸びる。 [ ] 各1点[8]  
 (2) 道路の標識。 [ ]  
 (3) 真珠の装飾品。 [ ]  
 (4) 顔の輪郭を描く。 [ ]  
 (5) 頬を染める。 [ ]  
 (6) 唇をとがらす。 [ ]  
 (7) 瞳が輝く。 [ ]  
 (8) 線路を敷く。 [ ]

五 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) ①垂直 [ ] ②垂れる [ ] 各2点[12]  
 (2) ①湿潤 [ ] ②潤う [ ]  
 (3) ①埋蔵 [ ] ②埋める [ ]

六 次の文の [ ] に入る四字熟語を、後の【語群】の片仮名から一つずつ選んで漢字に直せ。

- (1) 会える日を、 [ ] の思いで待つ。 各2点[4]  
 (意味) 待ち遠しいこと。

- (2) 再会を果たして、 [ ] の面持ちだ。 [ ]

- (意味) 胸がいっぱいになるほど、しみじみと感じること。 [ ]

【語群】

イミシンチョウ カンガイムリョウ  
 イツキイチユウ イチジツセンシユウ

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

- (1) ウデを組む。 [ ] 各1点[8]  
 (2) ナミダがこぼれる。 [ ]  
 (3) カゲ絵を見せる。 [ ]  
 (4) 光がスき通る。 [ ]  
 (5) 砂山がクズれる。 [ ]  
 (6) ハカ参りをする。 [ ]  
 (7) 日が海にシズむ。 [ ]  
 (8) アカツキの空。 [ ]

七 [ ] に生き物を表す漢字一字を入れて、後の意味を表す慣用句を作れ。 各2点[4]

- (1) [ ] が知らせる [ ]

(意味) なんとなく予感がすること。

- (2) 張り子の [ ] [ ]

(意味) 中身が無く見かけだけおしなこと。

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

- (1) ナメラカな表面。 [ ] 各2点[6]  
 (2) アザヤカな色の布。 [ ]  
 (3) 突然ダマル。 [ ]

四 傍線部の漢字と同じ読みを含むものを、後から

それぞれ一つずつ選べ。 各2点[4]

- (1) 人数を勘定する。 [ ]  
 ア 定義 イ 定理  
 ウ 定石 エ 平定
- (2) 時計を枕元に置く。 [ ]  
 ア 元手 イ 元首  
 ウ 元祖 エ 元素

八 次の言葉の使い方として正しいものを、後から一つ選べ。 各4点[4]

- (1) ねんごろに [ ]  
 ア ねんごろに寢床につく。  
 イ ねんごろにやってくる。  
 ウ ねんごろにもてなす。  
 エ ねんごろに勉強する。